

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	BX399/中級簿記2 (Intermediate Bookkeeping 2)		
担当者名 (Instructor)	小野 正芳(ONO MASAYOSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX2910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

株式会社が行うべき一連の基本的会計処理をできるようになることを目標とします。

目安として、社会的に中級レベルであると認知されている、日商簿記2級以上の知識を使いこなせるようになることを目標とします。

The objective of this course is to be able to perform the basic accounting processing that should be conducted by a corporation.

That includes as a guideline being able to use knowledge at least at the level of JCCI Bookkeeping Grade 2.

授業の内容(Course Contents)

中級簿記2では、中級簿記1の内容を前提として、株式会社が行う処理の中でも、資金調達に関する処理、純資産に関する処理といった少し高度な取引について学習し、それらの処理を題材に利益計算・財産計算を行うとともに、本支店会計や簡単な連結会計といった応用的な内容を扱います。

この授業では、次の手順で受講してください。

- ①授業前に、立教時間等にアップされる講義動画(30~60分)を視聴する(1回目の授業については事前視聴不要)。
- ②授業では、講義動画で学んだ範囲に関する問題の演習を行う。
- ③また、授業では、理論的な問題に関する考察を行う。

授業は、事前の講義動画を視聴していることを前提として進めます。

通常講義を受講したい学生は BX397 の中級簿記2 を履修してください。

In Intermediate Bookkeeping 2, building on what was learned in Intermediate Bookkeeping 1, of the processing performed by corporations, students will learn more advanced transactions, such as how to treat marketable securities, foreign currency translation, tax effect, funding and net assets, as well as profit and property calculations this processing as the subject matter in addition to how to handle such applications as branch accounting and simple consolidated accounting.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
Chap4: 有価証券の処理(1)ー有価証券の分類
2. Chap4: 有価証券の処理(2)ー売買目的有価証券ー
3. Chap4: 有価証券の処理(3)ー満期保有目的債券・子会社株式ー
4. Chap4: 有価証券の処理(4)ーその他の有価証券ー
Chap13: 外貨換算会計
5. Chap11: 純資産の処理ー純資産の項目と株式の発行による資金調達ー
6. Chap12: 税金と税効果会計(1)ー消費税の処理と税効果会計の意義ー
7. Chap12: 税金と税効果会計(2)ー税効果会計の処理ー
8. 株式会社の会計に関する総合問題
中間テスト
9. Chap14: 決算と財務諸表
10. Chap15: 本支店会計ー本支店間の取引と本支店合併財務諸表の作成ー
11. Chap16・17: 連結会計(1) 連結の意義と基本的な考え方・支配獲得時の資本連結
12. Chap18: 連結会計(2) 連結1年目・2年目の処理
13. Chap19: 連結会計(3) 内部取引高と債権債務の相殺・未実現利益の消去
14. Chap20: 連結会計(4) 連結精算表の作成

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

問題集を使って前回までに学習した処理を確実にこなせるよう復習してください。

かつ、その処理がなされる理由(会計学の理論・経済的背景)も説明できるように復習して下さい。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%)/複数回の授業内テスト(30%)/レポート(20%)

テキスト(Textbooks)

1. 蛭川幹夫編著、2019、『日商簿記ゼミ 2 級商業簿記教本』、実教出版 (ISBN:978-4-407-34450-9)
2. 蛭川幹夫編著、2019、『日商簿記ゼミ 2 級商業簿記問題演習』、実教出版 (ISBN:978-4-407-34451-6)

参考文献 (Readings)

その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)